

## 研修会報告

H30年6月7日（木）

文責：一般検査部門 佐藤美砂

研修会テーマ「一般検査部門H29年度精度管理フォローアップ研修会」

開催日時：H30年6月2日（土） 13:30～16:40

会場：仙台戦災復興記念館 4階第2会議室

司会・座長：仙台エコー医療療育センター 佐藤美砂 技師

講演1：「H29年度精度管理フォローアップ」

仙台エコー医療療育センター 検査室 佐藤美砂 技師

講演2：「尿試験紙検査の基礎知識」

栄研化学株式会社 学術担当 日野優太 先生

講演3：「尿沈渣成分の鑑別ポイントーフォトサーベイからみえる着眼点ー」

平内町国民健康保険平内中央病院 診療技術部臨床検査科 坂牛省二 技師

生涯教育点数：専門20点

参加者：会員39名（内申請中2名）、賛助会員：1名、実務委員5名（内講師1名）、  
県外講師1名

[内容]

講演1：昨年度（H29年度）の精度管理問題（設問1～設問10）について、各成分の

解説。

講演2：尿試験紙検査の基礎知識。尿試験紙の取扱い方・反応原理・偽反応・沈渣鏡検との乖離など。

講演3：昨年度の宮臨技精度管理問題設問11（評価対象外）についての解説と、各種尿沈渣成分についての鑑別ポイント。

今回の研修会は、H29年度精度管理フォローアップ研修会と新人教育を併せ持ったものとして企画いたしました。アンケート調査から約6割がフォローアップを目的とした参加、残りが一般検査初級者と思われました。

講演2では、試験紙法は簡易なものであるが信頼性のある結果を出すには多くの知識が必要であることを改めて認識いたしました。

講演3では、過去に青臨技精度管理問題として出された各種尿沈渣成分を提示し鑑別ポイントを解説していただきました。沈渣成分のどこに着目して解答したかアンケート調査を行ったら、正解者（施設）と不正解者（施設）では違うところを見て答えていたという結果に大変興味深いと思いました。

今後、新人教育・精度管理向上・各施設の一般検査のレベルアップのために会員皆様のご協力をいただきながら活動をしていきたいと思っております。

以上です。